

9月1日は 「防災」 の日

自分たちの地域や家庭で…

「もしも」の時に 今、できること

—毎年9月1日は
「防災の日」です—

「防災の日」は、大正12年9月1日に東京都・神奈川県・千葉県・静岡県の南関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらした「関東大震災」の日を教訓に、政府、地方公共団体などの防災関係諸機関をはじめ、広く国民の一人ひとりが台風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波などの災害についての認識を深め、これらに対する備えを充実・強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減を図ることをねらいとして定められました。



写真は、7月12日（日）に日野小学校にて実施された「日野町総合防災訓練」の様子です。

今年7月19日から26日にかけて山口県や福岡県などを襲った豪雨（中国・九州北部豪雨）では、山が崩れ、土砂が老人ホームを飲み込み、複数の入所者が生き埋めとなりました。また国道では信号の高さまでの土石流が発生し、車両數十台を直撃、こちらも死傷者が出る大惨事となりました。

地震災害をはじめ、今回のような集中豪雨等による災害、またこれから季節、十分注意が必要な台風災害など、いつ、突然起っこり得るかも知れない多くの災害に対し、私たちは常日頃から「災害に対する備え」を考えておかなければなりません。

私たちは災害を完全に避けることはできませんが、災害による被害を最小限におさえることはできます。そのためには日頃から「もしも」を想定した心構えと準備をしておくことが大切です。

◆地域ぐるみで防災対策◆

災害が発生したとき、交通網の寸断などにより、防災機関が十分に対応できないおそれがあります。そんなときに頼りになるのが「地域ぐるみの協力体制」です。日頃から地域の防災活動に参加することが、自分の家族や財産を守ることにつながります。

《平常時》

災害に備えるための活動

- 防災知識の普及・啓発
訓練や講習会を実施し、正しい知識を地域住民みんなで理解する。
- 地域内の安全点検
地域内の危険箇所や問題点を洗い出し、改善する。
- 防災訓練の実施
地域内や消防団（消防署）との合同訓練の実施。

自主防災組織の役割

《災害時》

人命を守り被害の拡大を防ぐ活動

- 初期消火
出火防止やバケツリレーなどの初期消火活動を行う。
- 避難誘導
地域住民を避難場所など安全な場所へ誘導する。
- 救出・救助
負傷者等を救出し、応急手当を行う。
- 情報の収集・伝達
公的機関と連絡を取り合い、情報を伝達する。
- 避難所の管理・運営
避難所の運営管理に携わる。

自主防災組織

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちの町は自分たちで守る」という心構えを持ち、災害が起きたときは、まず自分の身を守り、家族の安否確認、そして隣近所、地域全体の安全を確認するなど積極的に防災活動に参加し、緊急事態だからこそ発揮できる「地域防災力」をみんなで培っていきましょう。



～住民同士のつながりを大切に～

日頃から、地域のさまざまな行事（運動会やお祭りなど）へ積極的に参加し、地域の人々、隣近所同士などの「つながり」をつくっておきましょう。日頃からの「つながり」が災害時に大きな力となります。

第29回日野町消防団ポンプ操法訓練大会結果

■小型ポンプの部

- 優勝 第3分団B
徳井正人さん、北西智さん
山岸哲弥さん、山内久弥さん

■ポンプ車の部

- 優勝 第1分団鎌掛
岡長司さん、瀬川一幸さん、
岡敬次郎さん、福本敏さん、
岡吉輝さん

この大会は、消防技術の向上と消防団員の士気の高揚を目的に毎年この時期に開催され、迅速、安全、的確に消防ポンプなどを扱う消防活動を行ったための基本技術を競い合います。消防団員の皆さんは、優勝を目指して約1か月間、早朝から訓練に励んでこられました。出場されたどのチームも操法終了後はやり遂げた満足感充実感でいっぱいの様子でした。

この大会を通して得た操法技術と団員同士の団結は今後地域の防災活動に活かされることででしょう。なお、結果は次のとおりです。優勝チームの皆さん、おめでとうございません。また出場された消防団員の皆さん、お疲れさまでした。

7月19日(日)、時折小雨の降る中、桜谷小学校グラウンドにて「第29回日野町消防団ポンプ操法訓練大会」が開催されました。



<ポンプ車の部> 優勝 第1分団鎌掛



<小型ポンプの部> 優勝 第3分団B

迅速・安全・的確 消防活動の基本技術を競う

第29回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

滋賀県消防操法訓練大会で4位入賞された 日野町消防団第3分団の皆さん



▲左から、西村豊和さん（指揮者）、清水雅司さん（1番員）、三添修さん（2番員）、谷元圭一さん（3番員）、寺澤清史さん（4番員）、内村正直さん（補助員）、小芦昭夫さん（補助員）

キラリ人

～心をひとつに、
全力を出し切る～

地域住民の安全・安心な暮らしのために昼夜を問わず活動されている消防団の皆さん。8月9日（日）に滋賀県消防学校（東近江市）で開催された第44回滋賀県消防操法訓練大会において、日野町消防団第3分団がポンプ車の部に出場され、見事第4位入賞という成績を収められました。指揮者の西村豊和さんにお話を聞きしました。

8月2日に開催される予定が、気象警報の発令によって翌週の9日へ延期された今回の大会。「モチベーションを保つのが大変でした」と、西村さん。

第3分団の中で3班の班長を務める西村さんは、この大会に向けて、今年の2月25日から6班の木田班長と方針等を相談されていたそうです。第3分団の中から県大会への立候補選手が決まり、練習が始まったのは、5月11日。この日から体力づくり、出場選手の選考を経て、操法練習などを行い、約3カ月間の練習を積み重ねて、当日を迎えるました。

県内の各代表15チームがポンプ車の部に出場。これまでの練習の成果を出すために、選手全員が一丸となつて操法を披露されました。「優勝を目指していたので、結果は残念でしたが、選手のみんなは、とてもよくがんばってくれました」と、選手の皆さんのは素晴らしい



▲選手全員が一丸となり、見事な操法を披露されました

消防団の活動は、いざというときには、地域住民を守るために、消防団員は普段は野町消防団でとつた4位です。消防団の活動は、いざというときに慌てないよう各部のポンプ点検や、ポンプ操作技術を身につける練習など、先輩から後輩へ技術を伝えるとともに、年齢に関係なく、いろいろな方の意見を聞くことができる、人とのつながりが得られる大切な場となっています。

消防団と消防署は、災害から住民を守るという任務の下で活動されています。また、地域住民を主体に組織され、地元の事情等に精通した地域密着型の組織です。

消防団とは、「自らの地域は自ら守る」という自主防災の精神に基づき組織された市町村の消防機関です。火災をはじめとするあらゆる災害から住民の生命、身体、財産を守るために活動しています。

消防団とは？

- 各種の防災活動に従事している点が大きく異なります。また、地域住民を主体に組織され、地元の事情等に精通した地域密着型の組織です。
- 灾害時の活動
 - 火災発生時の消火活動・鎮火後の残火処理など。
 - 風水害時の警戒活動（危険箇所の見回りなど）。
 - 地震などの大規模災害発生時における救助活動など。
 - 行方不明者の捜索、人命救助、災害時の避難誘導など。
- 平常時の活動
 - さまざまな場面を想定した消火訓練
 - 火災予防の巡回広報や住宅の防火診断などの啓発活動
 - 灾害時の応急手当などの訓練
 - 消防車や小型動力ポンプなどの消火器具の点検や取り扱いの訓練など。